

東北自動車道

郡山中央スマートインターチェンジ
開通の効果

開通の効果 市街地へのアクセス性の向上

供用開始：2019年1月13日（日）

■整備のねらい

高速道路から郡山駅や郡山市役所をはじめ、商業施設などが集積する市街地へのアクセスは、国道4号や国道49号など混雑する幹線道路を経由しているが、郡山中央スマートICの設置により、市街地へのアクセス時間が短縮される。

■整備効果

- 高速道路と中心市街地を結ぶ交通が分散することにより、渋滞区間である国道49号の交通量が減少した。
- 経路選択の増加により、利便性が向上。

■渋滞区間交差点 交通量（流入）及び所要時間の変化



地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsi.go.jp/>)
をもとに、郡山市が加工

：渋滞区間



《交差点交通量（流入）の変化》

◎桑野三丁目交差点

(単位：台)

路線名	開通前	開通後	差
①国道49号下り	7,182	7,038	-144
②国道49号上り	10,228	9,251	-977

◎開成山交差点

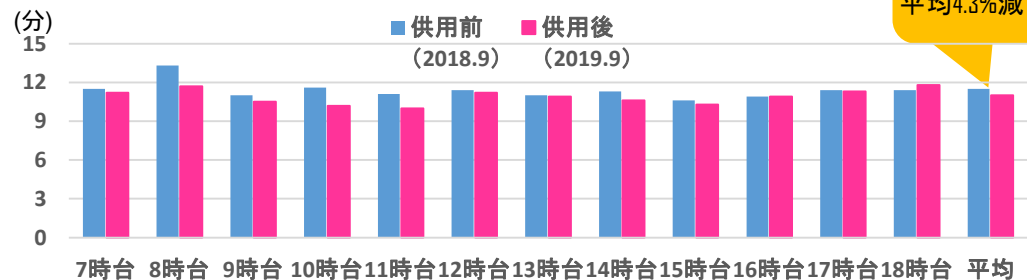
(単位：台)

路線名	開通前	開通後	差
③国道49号下り	8,044	7,622	-422
④国道49号上り	7,531	7,324	-207

※開通前：2017.10.17（火） 開通後：2019.9.7（土）

出典：郡山国道事務所

《国道49号 郡山IC入口～開成山交差点 所要時間の変化》



◆ETC2.0走行履歴データより算出。(平日調べ。)

出典：郡山国道事務所

開通の効果 救急医療搬送の支援、災害時の支援活動の円滑化

供用開始：2019年1月13日（日）

■整備のねらい

- 県中・県南地域唯一の第3次救急医療施設である太田西ノ内病院に県南地域から最も近いICとなるため、搬送時間の短縮等に期待。
- 災害時の拠点となる『陸上自衛隊郡山駐屯地』や『郡山消防署』、物資輸送の拠点となる『開成山公園』等から最寄りのICとなり、災害発生時の物資輸送・人的支援活動を円滑に行うために、重要なICとなる。

■整備効果

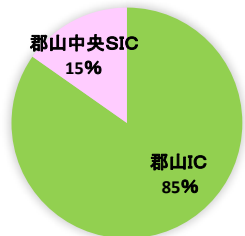
- 須賀川及び白河地方広域消防本部管内の救急車による搬送者の約4分の1が、郡山市の医療施設へ搬送されており、高速道路を利用した搬送ルートの代替等、救急医療活動に寄与。
- 台風第19号災害の際、郡山駐屯地より自衛隊車両の通行台数 10月：平均13台/日 11月：平均21台/日。

■本市への搬送者数（2018.1～12）

消防本部名	全体	本市への搬送人数	割合
須賀川	5,385人	2,036人	37.8%
白河	5,365人	386人	7.2%
合計	10,750人	2,422人	22.5%

出典：須賀川広域消防、白河地方広域消防本部

■利用IC内訳（2019.11～12）



出典：須賀川広域消防、白河地方広域消防本部

救急隊員の声

・郡山中央スマートICは、白河方面からの転送時に活用し、傷病者の負担の軽減、搬送時間の短縮を図ることが出来た。

須賀川地方広域消防本部へヒアリング

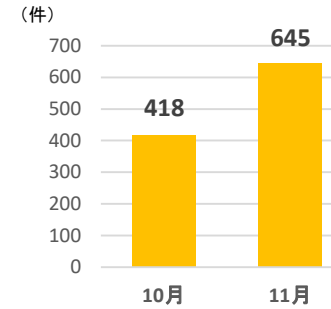
■郡山駐屯地から各ICまでの経路及び時間

※所要時間は郡山駐屯地へのヒアリングによる。



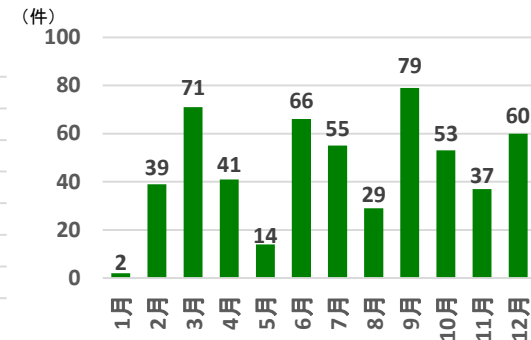
地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsi.go.jp/>)をもとに、郡山市が加工

■台風第19号 災害時利用状況



出典：陸上自衛隊郡山駐屯地

■通常用務時利用状況（2019年）



■台風第19号災害派遣活動の様子（いわき市平窪公園）



出典：陸上自衛隊郡山駐屯地WEB

郡山駐屯地の声

・台風第19号に伴う災害派遣では、郡山駐屯地への部隊集中や、いわき市等への進出の際に活用し、開通前に比して、郡山駐屯地から高速道路へ入るまで、片道約20分の時間短縮ができたことにより、迅速な部隊展開が可能となった。
陸上自衛隊郡山駐屯地へヒアリング